

祝！ご結婚おめでとうございます！

藤田 豊樹兄弟(17期)と
出利葉 詠美 姉妹



2014年2月22日
中谷 江利 姉妹(15期)と
広瀬 渡 兄弟



2014年9月27日
大久保 恵頼 姉妹(30期)と
ディビニー 兄弟



2014年10月13日
近藤 真理 姉妹(20期)と
古閑 真也 兄弟



2015年1月25日
吉岡 みゆき 姉妹(20期)と
興梠 博紀 さん



2014年5月13日
山田 直子 姉妹(13期)と
スティーブ・グリック 兄弟 (ISM)



2014年11月22日
竹内 聡 兄弟(27期生) & キャシー 姉妹(28期生)
と結婚式に参列したCFNJ同窓生たち

CFNJ 同窓生通信
&
Prayer Letter No.51
2015/4~6

CFNJ同窓生の皆さん、お元気ですか？ 恵みと平安のごあいさつを送ります！

同窓生の皆さん、お久しぶりです。

2014年度は、なぜか一度も同窓生通信を送ることができませんでした。ごめんなさい。この間、同窓生の皆さんの働きや生活にも、様々な変化や進展があったことでしょう。今回はいくつかのお知らせと共に、昨年度中にもめでたく結婚された卒業生の写真などを満載でお届けしたいと思います。また、最近になって、改めて各地域の卒業生の方々と連絡を取り合い、最低、年に一度は、各地域で同窓生会を開いていただくべく、地区代表になっていただく方々をお願いしたところ、皆さんお忙しい中にもかかわらず、快くその役目を引き受けてくださいました。それらの代表の方々から連絡が入りましたら、ぜひとも都合をつけて駆けつけ、旧交を暖め、互いに励ましあうときを持っていただければ嬉しく思います。ちなみに北海道地区は9月に、関東地区は10月に同窓生が開かれることが、予定されています。詳しい内容が決まりましたら、学院のホームページやフェイスブックなどでお知らせいたします。

まずは今年3月いっぱい学院のスタッフ&舎監としての働きを終え、群馬県に移住されることになった吉田夫妻の証をお読みください。吉田さんは、学院の10期卒業生ですが、学生時代も無遅刻、無欠席、ご夫婦でスタッフとなられてからの13年間も、実に忠実にまさに粉骨細心、主と私たちに仕えてくださいました。多くの卒業生も吉田夫妻の作ってくださったおいしい料理の味を覚えておられることでしょう。ご夫妻はすべての聖徒の模範と言える方々であり、私たちの誇りです。ハレルヤ！

私たちは多くの兄弟姉妹の愛と祈りに支えられて、13年間の学院での奉仕を終えようとしています。鍛冶川先生、紀子先生、グドール先生の忍耐と励まし、共に労したスタッフへの感謝は尽きません。そして、学院へ導き、訓練を与え、成長させてくださった主を褒め讃えます。

学院へ来たことは、祈りの中で語られた主への応答でしたが、再び主は語って下さったのです。昨年1月、学院は30周年記念として、念願だったイスラエルへ行くことが出来ました。私たちも参加しましたが、西壁で手を置き祈っていると、内側に「霊とまことによって礼拝する者を求めています。」と語られました。ヨハネ4章23節ですね。何度も読み知っていましたが、その時は全く新しい御言葉のように入ってきました。御言葉は薄れるどころか、ますます祈りへと導きました。そのような中で、夫は学院での働きが終わる時がきたのを受け取りました。それから次々とパズルをはめ込むように、主の言葉が道を示して行きました。特にシンディ・ジェイコブス師の「日本のリバイバルは北と南からブックエンドのように起きます」と預言された時に祈った祈りを思い起したのです。「私を日本の真ん中で祈らせて下さい。日本のリバイバルが北と南から来るなら、その真ん中で祈らせて下さい。」と祈ったことがあったのです。そのような祈りを2、3度ほど祈ったでしょうか、...。ですから、それは、自分がその後も祈り続けた、という内容ではなかったのです。しかし、主は私に「日本の真ん中に行き祈りなさい。」と言われたのです。今、この時、行くように、と。自分が受け取った思いを、信頼し、



舎監の吉田仁さん、永子さんご夫妻。
2015年3月6日の卒業式にて、
お二人の祝福と守りを祈りました。

尊敬している数人の方たちにお伝えしている中で、ある日私は思い出しました。夫が学院生だった時の中国アウトリーチに、思いがけず参加させていただいたときの事です。広州のホテルで朝早く目覚めて中国の救いを祈っていると「あなたは祈ったのですよ。」と語られました。そう、私は以前、祈りの中で中国の救いのための祈りをしていたとき、「主よ。私を中国へ連れて行って、中国の中で祈らせて。」と願ったことがあったのです。主は覚えていて下さったのです。

ああ、なんと真実なお方でしょうか。主は、私たちの祈りを導き、実現させて下さるお方です。この主が導いて下さるなら、年令も状況もすべてを捧げてついて行きたいと願っています。

「わたしに仕えるというのなら、その人はわたしについて来なさい。わたしがいる所に、わたしに仕える者もいるべきです。もしわたしに仕えるなら、父はその人に報いてくださいます。」ヨハネ12章26節

学院の祈りの課題

あなたの周りにいるクリスチャンに学院をすすめてください！日本中のクリスチャンが、まずリバイバルされる必要があります。3日間の、無料体験入学もあります。ゲストスピーカーの授業は、いつでも無料で聴講できます。

収穫の主に、収穫の働き人を求めて・・・

1. 日本における神の国の拡大のために、もっと学生を！
2. サハリンアウトリーチのために。
3. 経済的に困難を覚えている学生のための、奨学生基金への献金が与えられるように。
4. 今年4月1日から卒業生の村谷忠光兄弟が、学院のフルタイムスタッフとして働いてくれることになりました。これまでもパートタイムで、吉田夫妻のアシスタントとして、調理や管理の面でお手伝いして下さっていましたが、いよいよ、これからは、一本立ちして村谷さんが学院の調理場を仕切ります。皆さん、どうぞお祈りください。そして村谷さんにふさわしい助け手が与えられますように！

同窓生の皆さんのために、わたしたちは祈り続けます。祈りの課題やレポート証などをお寄せください。連絡は office@cfnj.com noriko@cfnj.com へ

発行者/鍛冶川紀子



CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157 (0133) 74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP/www.cfnj.com ●e-mail/office@cfnj.com